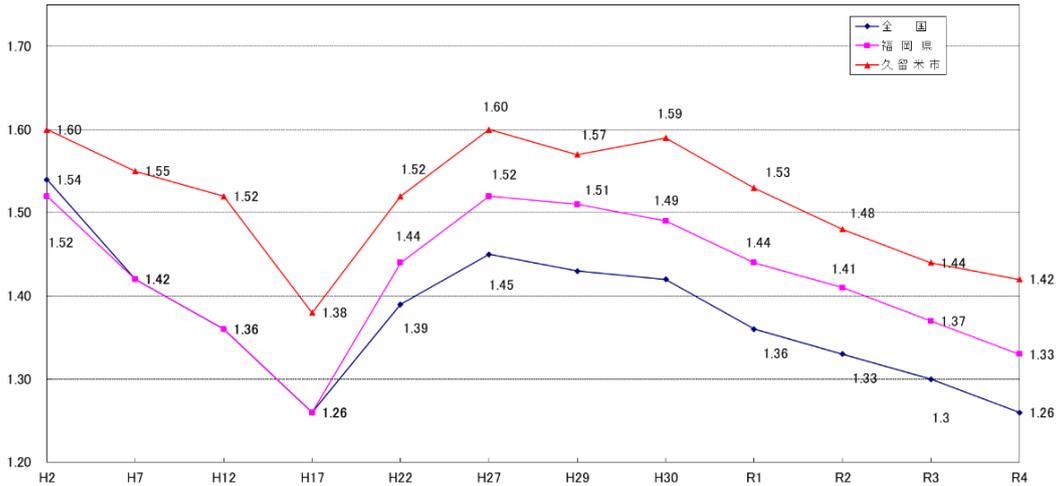


結婚及び少子化の現状

1 出生数の状況

(1) 合計特殊出生率の推移

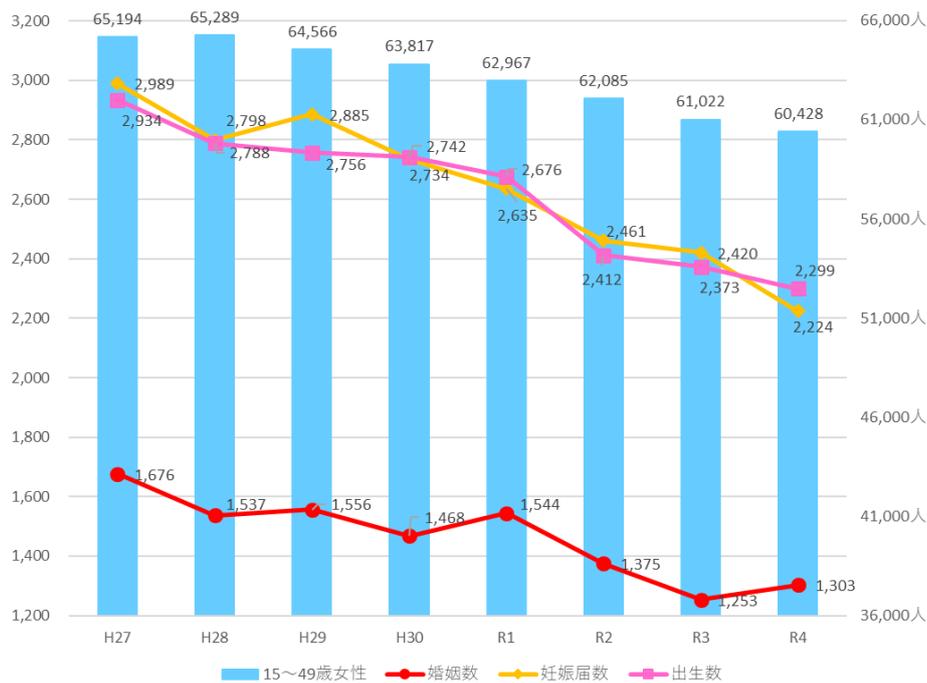
久留米市の合計特殊出生率は、全国や福岡県の数値を常に上回っていますが、近年では平成27年をピークに減少傾向にあります。なお、一般的に人口を維持できる水準は2.07とされています。



(2) 出生数・妊娠届数・婚姻数の推移

15～49歳の女性の人口は、近年は平成28年をピークに減少傾向にあり、平成30年から令和4年までの間に約5%減少しています。出生数及び妊娠届数は、減少傾向にあり、平成29年から令和3年までの間に約16%減少しています。

久留米市の女性人口・婚姻・妊娠届・出生数

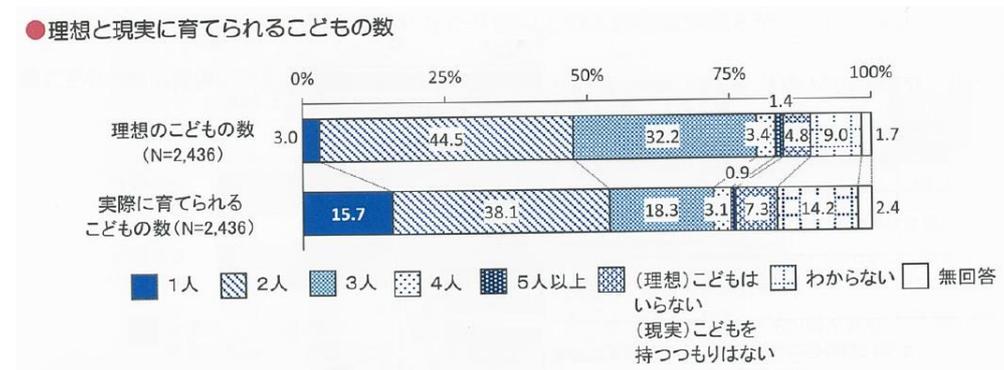
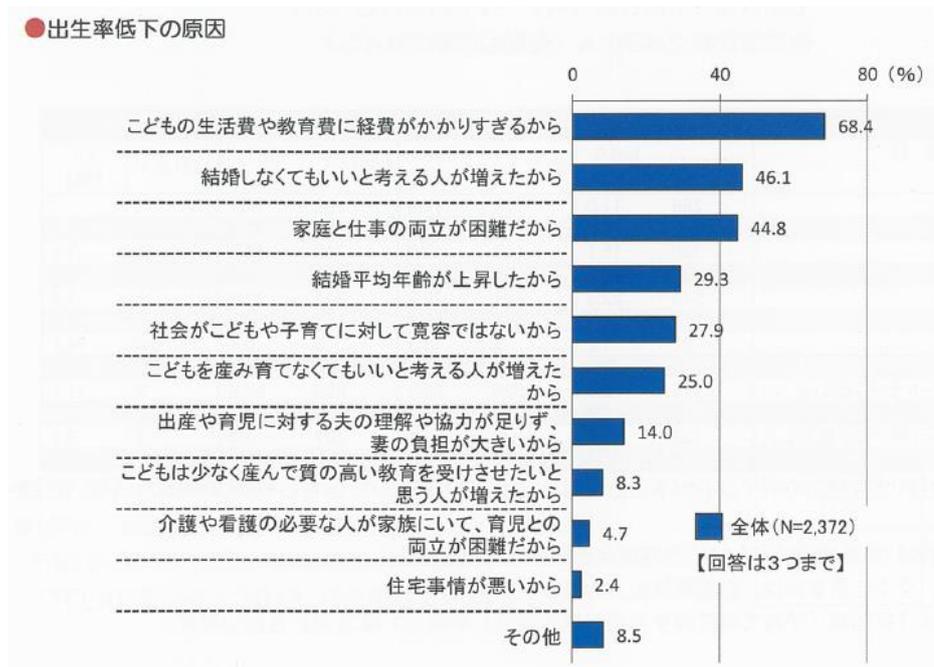


2 結婚や出生数に関する意識（子育て等に関する県民意識・ニーズ調査より）

（1）出生数に関して

18歳から49歳までの男女が答えた出生率低下の原因の主なものには、「こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎる」「結婚しなくてもいいと考える人が増えた」、「家庭と仕事の両立が困難」があります。

また、理想と現実にて育てられるこどもの数は、理想では2人が最も多く、次いで3人で多いですが、現実では、いずれも割合が減っています。

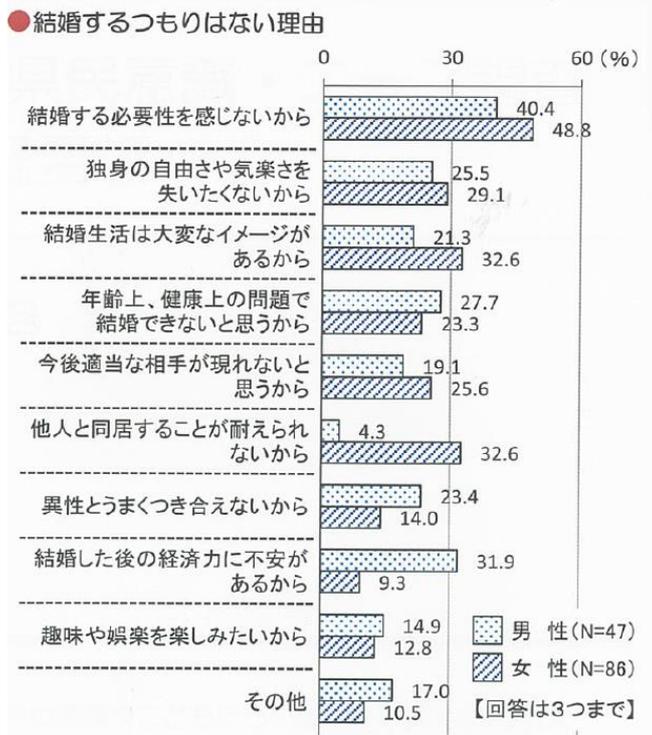
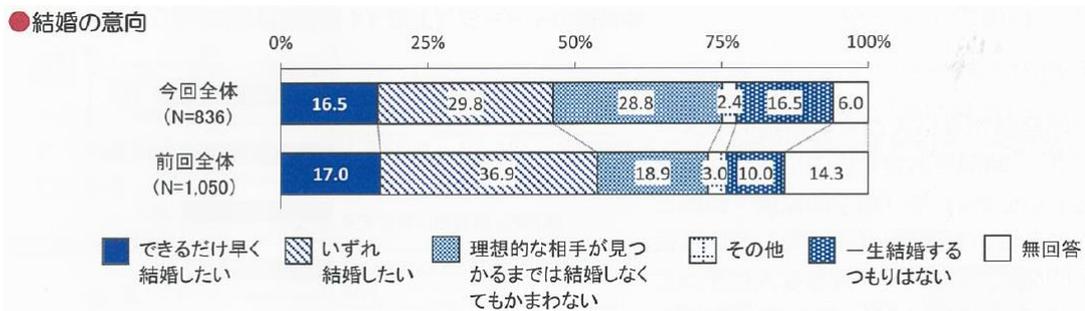


(2) 結婚に関して

18歳から49歳までの男女が答えた結婚の意向を持つ人は、46.3%と前回よりも約7%減少しています。

結婚するつもりはない人の理由は、男女ともに「結婚する必要性を感じていない」が最も高くなっています。次点として、男性は「結婚した後の経済力に不安がある」となっていますが、女性は「結婚生活は大変なイメージがある」、「他人と同居することに耐えられない」となっています。

結婚したいと思う人が結婚するために必要なことは、「子育てと仕事の両立ができる環境があること」、「若者が就業して安定した収入を得られること」をあげている人が多くなっています。



●結婚したいと思う人が結婚するために必要な要素・支援策（性別）上位7位

